

鏡検問題解答例

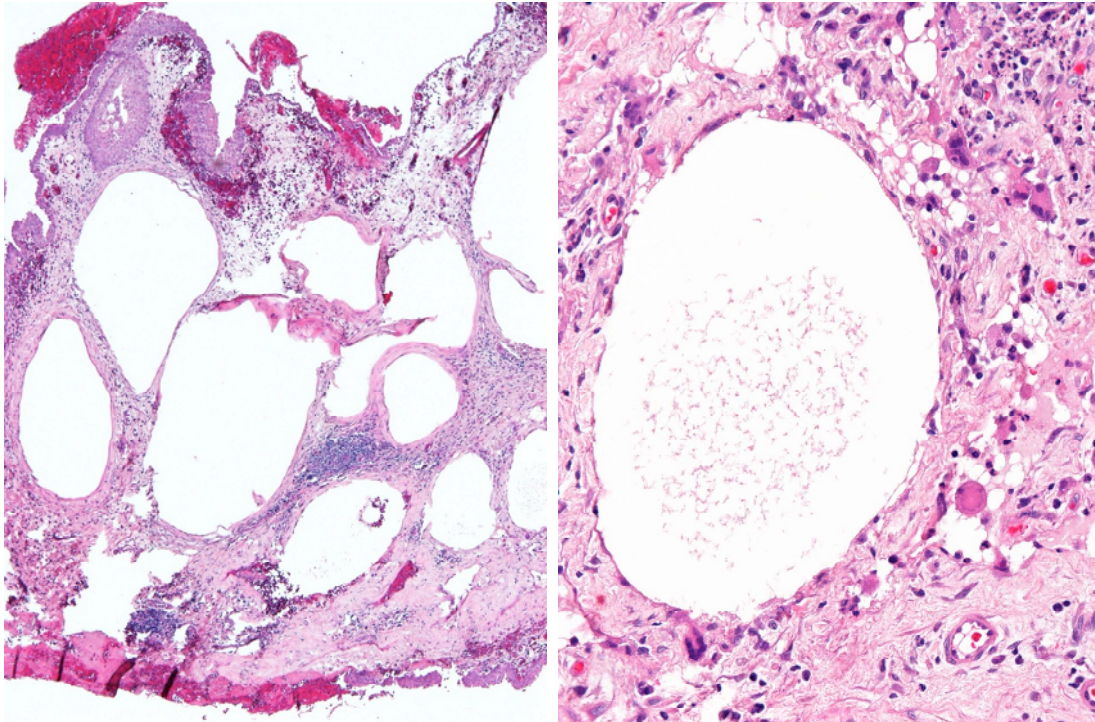
標本：膀胱、10%ホルマリン固定、HE 染色

動物：犬、ミニチュアシュナウザー、雄去勢、10 歳齢

臨床事項：若齢時より膀胱炎および膀胱結石を繰り返しており、治療困難となったため二次診療

施設を受診。CT 検査にて膀胱壁内にガス貯留が認められた。膀胱結石の摘出手術の際に膀胱生検

を実施した。標本はこの生検時に採取された組織である。



組織所見

膀胱の粘膜下組織に大小不同の嚢胞を多数認め、周囲組織を圧迫している。嚢胞周囲および内部には異物巨細胞の浸潤がみられる。多くの嚢胞の内部は空虚であるが、一部の嚢胞の内部には少量の弱好酸性糸くず状物がみられ、嚢胞には明瞭な内張り細胞は認められない。間質は広範に水腫を呈し、リンパ球、形質細胞、好中球の浸潤がびまん性ないし多巣状に認められる。膀胱粘膜は過形成を示し、粘膜下に出血巣が散見される。

組織診断

気腫性膀胱炎